



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイオーズ
 コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大久保 真一
 (氏名) 稲垣 賢一

TEL 03-3438-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,813	6.9	326	37.4	327	32.9	175	32.2
24年3月期第1四半期	3,568	△1.5	237	△0.9	246	△7.9	133	△9.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 75百万円 (44.0%) 24年3月期第1四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.11	—
24年3月期第1四半期	9.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,638	7,040	81.5	524.65
24年3月期	8,888	7,166	80.6	534.02

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,040百万円 24年3月期 7,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,534	5.8	503	17.1	509	11.2	303	16.4	22.65
通期	15,403	7.2	1,002	18.5	1,023	18.3	536	26.4	39.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	13,439,142 株	24年3月期	13,439,142 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	19,152 株	24年3月期	19,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,419,990 株	24年3月期1Q	13,419,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

①国内部門

当第1四半期においては、前期より継続しております販売戦略として、新規開拓部門における「エリア担当制営業管理システム」をベースとした拡販組織の拡充に加え、顧客管理部門における、サービスの付加価値を高める事を目的とした「年中無休の365日サービス体制」を全国へ拡大する為の整備を実施しました。

また、売上の拡大と社員のモチベーションアップを目的とした「全社一斉拡販キャンペーン」を実施し、目標数値を上回る成果を残す事が出来ました。その結果、ボトルウォーター、及び飲料関連商品の契約台数が増加し、更にフランチャイズオーナーによる高品質の清掃サービスを提供するカバーオール事業も堅調に伸ばしたことにより、売上高は前年同期比102.2%の成長となりました。また、管理部門の合理化及び支店運営の標準化による運営コスト圧縮策が順調に進捗したことにより、営業利益は前年同期比116.0%となり、売上、利益共に対前年同期を上回る結果となりました。

②米国部門

米国のマクロ景気としては、一進一退は続いているものの当社の営業体制さえ堅固であれば十分に売上成長や利益改善は可能な環境下にあると判断しております。

本年5月にはテキサス州に隣接するオクラホマ州最大のOCS業者をM&Aで統合し、オクラホマシティ支店を開設いたしました。また、進出して3年を経過したテキサス、コロラド両州など、成長過程にある拠点では販売数量が堅調に増加しております。更に前期にシカゴとデトロイトのそれぞれの市場で実行した追加M&Aの貢献も続いており、当第1四半期の総売上高は前年同期比115.3%(ドルベース)となりました。

一方で、経費面では拠点毎に利益を最大化できる「あるべき売上規模」を設定し、その規模に到達するように売上管理をする「モデル経営」を戦略的に導入いたしました。加えて、2006年夏に実施していたシカゴ、デトロイトでの大型買収案件の営業権償却が昨年夏で終了したことにより、前年同四半期との比較上での償却費用負担が大幅軽減されました。それらの結果、営業利益としては前年同期比177.4%(ドルベース)と大幅増加し、増収増益路線が継続しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は38億13百万円(前年同期比6.9%増)、売上総利益は22億5百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は3億26百万円(前年同期比37.4%増)、経常利益は3億27百万円(前年同期比32.9%増)、四半期純利益は1億75百万円(前年同期比32.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億50百万円減少の86億38百万円となりました。主な要因は、「その他」(無形固定資産)に含まれている顧客リストが2億97百万円、「工具、器具及び備品」が63百万円増加した一方、「現金及び預金」が5億53百万円、「繰延税金資産」(流動資産)が25百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億24百万円減少の15億97百万円となりました。主な要因としては、「未払法人税等」が63百万円、「賞与引当金」が53百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億25百万円減少の70億40百万円となりました。主な要因としては、「為替換算調整勘定」が1億00百万円、「利益剰余金」が25百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成24年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,527,281	1,974,128
売掛金	1,370,118	1,396,370
リース投資資産	223,287	221,554
商品及び製品	488,149	504,596
仕掛品	1,725	3,999
原材料及び貯蔵品	82,585	90,500
繰延税金資産	104,306	79,190
その他	271,441	241,279
貸倒引当金	△43,835	△46,373
流動資産合計	5,025,061	4,465,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	678,610	661,700
機械装置及び運搬具(純額)	252,173	249,200
工具、器具及び備品(純額)	569,143	632,384
土地	743,577	728,833
有形固定資産合計	2,243,504	2,272,118
無形固定資産		
のれん	528,801	491,521
その他	320,173	634,535
無形固定資産合計	848,975	1,126,056
投資その他の資産		
投資有価証券	215,143	213,488
レンタル資産	231,673	251,638
繰延税金資産	179,451	163,882
その他	169,214	170,412
投資損失引当金	△24,467	△24,467
投資その他の資産合計	771,015	774,955
固定資産合計	3,863,495	4,173,130
資産合計	8,888,557	8,638,378

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	360,140	341,351
短期借入金	311,642	309,482
未払法人税等	118,733	55,183
未払費用	271,005	259,381
賞与引当金	127,000	73,836
その他	441,853	466,300
流動負債合計	1,630,375	1,505,536
固定負債		
繰延税金負債	44,105	44,855
資産除去債務	29,956	30,103
その他	17,600	17,141
固定負債合計	91,662	92,100
負債合計	1,722,038	1,597,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,119,484
利益剰余金	5,817,670	5,792,289
自己株式	△7,937	△7,937
株主資本合計	7,980,352	7,954,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,458	3,939
為替換算調整勘定	△817,291	△918,168
その他の包括利益累計額合計	△813,833	△914,229
純資産合計	7,166,518	7,040,741
負債純資産合計	8,888,557	8,638,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,568,689	3,813,299
売上原価	1,500,584	1,608,171
売上総利益	2,068,105	2,205,127
販売費及び一般管理費	1,830,637	1,878,893
営業利益	237,468	326,234
営業外収益		
受取利息	298	108
受取配当金	256	689
仕入割引	4,790	3,761
持分法による投資利益	2,079	2,620
その他	4,441	2,293
営業外収益合計	11,866	9,474
営業外費用		
支払利息	554	557
為替差損	2,145	6,834
その他	—	517
営業外費用合計	2,699	7,909
経常利益	246,635	327,799
特別利益		
固定資産売却益	343	418
特別利益合計	343	418
特別損失		
固定資産売却損	—	16
減損損失	—	12,727
特別損失合計	—	12,744
税金等調整前四半期純利益	246,978	315,473
法人税、住民税及び事業税	90,495	106,290
法人税等調整額	23,398	33,264
法人税等合計	113,894	139,555
少数株主損益調整前四半期純利益	133,083	175,918
四半期純利益	133,083	175,918

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133,083	175,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	481
為替換算調整勘定	△76,530	△99,025
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,112	△1,851
その他の包括利益合計	△80,650	△100,396
四半期包括利益	52,433	75,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,433	75,522
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,033,444	1,535,245	3,568,689	—	3,568,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,612	—	48,612	△48,612	—
計	2,082,056	1,535,245	3,617,301	△48,612	3,568,689
セグメント利益	204,722	81,358	286,080	△48,612	237,468

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,071,329	1,741,969	3,813,299	—	3,813,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55,634	—	55,634	△55,634	—
計	2,126,964	1,741,969	3,868,933	△55,634	3,813,299
セグメント利益	237,436	141,980	379,416	△53,182	326,234

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はございません。